

平成23年度 我孫子市特別職報酬等審議会 概要

1. 会議名称	我孫子市特別職報酬等審議会
2. 開催日時	平成23年11月24日(木) 午前10時から
3. 場所	議事堂 第一委員会室
4. 出席者	委員 米澤会長、中尾委員、飯田委員、石崎委員、加藤委員、坂巻委員、柴田委員 事務局 星野市長、倉部総務部長、日暮総務部次長、川村主幹、岡本課長補佐、海津、黒田
5. 議題	常勤の特別職等の給与改定(案)について
6. 公開非公開の別	公開
7. 傍聴人	なし

8. 会議の内容

事務局：倉部総務部長：ただ今より我孫子市特別職報酬等審議会を開催します。会議に先立ちまして本審議会の成立案件について報告します。本日の出席者が過半数を超えているため、審議会条例第6条第2項の規定により本審議会は成立します。本日は委員改選後初めての審議会になりますので、委員の皆様及び事務局職員を紹介します。

— 委員及び事務局職員の紹介 —

事務局：倉部総務部長：次に市長よりご挨拶を申し上げます。

— 市長より挨拶 —

事務局：倉部総務部長：これより議題に入ります。議題1、会長の選任につきましては、審議会条例第5条第1項の規定により互選となりますがいかがでしょうか。

飯田委員：事務局案がありましたら提示してください。

事務局：日暮総務部次長：事務局案としては、米澤委員にお願いしたいと思います。

— 全員賛成 —

事務局：倉部総務部長：異議がないようですので、米澤委員に会長をお願いします。

米澤会長：不慣れですがよろしくをお願いします。それでは審議会条例第5条第3項の規定により、職務代理として中尾委員を指名します。

議題2、審議会の概要等について事務局より説明をお願いします。

― 事務局より説明 ―

柴田委員：資料の類似団体との比較において、産業構造などからⅢ-3に分類されるということですが、全国におけるⅢ-3の団体数と、比較対象とする団体を抽出した理由をお聞かせください。

事務局：倉部総務部長：人口規模が10万から15万人で、第三次産業が大部分を占める都市部の区分としたものがⅢ-3に当たり、全国では10から20団体があります。関東近辺の団体を比較対象としたのは、地域手当の割合において、経済状況などの地域性が影響していることなどから、遠方の団体とは給与水準を比較し難い点があるからです。

事務局：日暮総務部次長：全国においてⅢ-3に区分される団体が多数あるわけではないので、比較対象団体は必然的に選ばれものと考えられます。資料では近隣市との比較対象に柏市がありますが、当市とは行政規模が違い中核市に位置づけられおり、首長の給料を単純に比較できないので、類似団体との比較が必要になります。

米澤会長：財政力指数はどのように見ればよいのでしょうか。

事務局：倉部総務部長：財政力指数は限りなく1に近い方が正常であり、1を超えれば歳入に余裕があり、1より少なければ歳入規模が少し足りないことになります。我孫子市は、資料における類似団体5市の中では平均的と言えます。東京都内の団体は歳入が集まりやすいので1を超えています。

加藤委員：12月議会にこの審議の結果が上程されるのですか。

事務局：倉部総務部長：本日の結果を12月議会に上程します。

飯田委員：一般職の給与水準は千葉県内で何番目ですか。

事務局：日暮総務部次長：国家公務員の給料と市職員の給料をラスパイレス方式で比較した指数について、国が100とした場合に、市は平成22年度が102.5で千葉県内で11位です。若年層を除く一般職の基本給を2%抑制していますが、もし2%の抑制がなければ1位か2位です。近年、このラスパイレス指数が高い数値を示していたので、平成22年度から3か年程度は抑制措置を継続したいと考えています。

飯田委員：給料が高ければ職員の意欲も高くなり良いことかもしれないが、国家公務員より給料が高いという意見も聞いています。

事務局：倉部総務部長：ラスパイレス指数についての感想だと思われませんが、何か対策を講じるべきことだと思います。一方でラスパイレス指数は基本給だけの数値と、地域手当を含めた数値の2種類があり、地域手当を含めて比較すれば、千葉県内で中位以下になるのですが、総務省はあまりこの数値を公表しません。この2つの数値について比較して欲しいとは思いますが、基本給だけのラスパイレス指数を下げるための抑制措置は必要と考えています。

事務局：日暮総務部次長：国家公務員において、平成18年度に給与制度改正が行われた際に、基本給と地域手当を含めた地域給という考え方に改められ、我孫子市の地域給のラスパイレス指数は、平成22年度が98.8で100を割っており、千葉県内では25位です。本来は2つの側面から見なければいけないと思います。

加藤委員：ラスパイレス指数が高いということは、職員の平均年齢も高いのでしょうか。

事務局：日暮総務部次長：職員の平均年齢は千葉県内で1番か2番目くらいに高く、事務職では46歳ぐらいです。年齢構成のピラミッドが逆三角形に近い状態にあり、近年は大量退職に伴い、新規採用者を増やしましたが、それまでの10数年間は極端に新規採用者を減らしていたことにより、平均年齢が上昇しています。広報あびこ11月16日号で人事給与の状況を公表しましたが、職員1人当たりの給与費を近隣市と比べると高くなっており、平均年齢が高ければ給与も高くなる傾向にあることを説明していく必要があります。

米澤会長：議題3、諮問内容として常勤の特別職等の給与改定（案）について、事務局より説明をお願いします。

— 事務局より諮問内容の説明 —

飯田委員：教育長は以前校長だった方が任命されるものなのでしょうか。また、水道局長はどのような身分でしょうか。

事務局：倉部総務部長：教育長は教育委員の互選で選ばれ、元校長先生とは限りません。教育長とは別に、教育委員会の長として教育委員長がありますが、教育長は教育委員事務局の長という身分です。正確に言いますと、財政上は特別職ではなく、一般職の中の一人となりますが、給与に関しては特別職に準ずる扱いをしています。

水道局は市町村の組織の中でも特異なもので、公営企業として歳入を持って歳出に充てるという企業理念で運営しており、水道局長はその経営を任せられた特別職となります。

加藤委員：議員の歳費については、個々の削減もありますが、我孫子市に最適な定数を議会の中で真剣に検討して欲しいと思います。

事務局：倉部総務部長：議会運営委員会では最近でも定数を28名から24名へ削減したように、定数や報酬に関して自発的に検討しています。今回の審議会において議員報酬は扱いませんが、今回の諮問内容は既に議会運営委員会へ渡してありますので、これを基に議論されることを期待しています。

飯田委員：浦安市は人口約16万5千人で財政状況も悪くありませんが、議員定数は21名です。

事務局：倉部総務部長：浦安市の例は常に話題になり、我孫子市議会も承知していることだと思います。我孫子市の特別職の給料月額、他市との比較において高い方ではないのですが、経済情勢や一般職の給与水準を勘案して議論があつて当然と思われます。

中尾委員：特別職の退職手当は任期ごと、あるいは最後に退任するときにまとめて支払われるのですか。

事務局：日暮総務部次長：任期は4年で任期ごとに支給されます。例えば、市長の退職手当の計算方法は、退職時の給料月額に100分の35を乗じた額に、任期満了であれば在職月数48月を乗じた額で、概算で約1,400万円です。

飯田委員：我孫子市の以前の助役の中には元国家公務員の方がいて、退職金を3回受給しています。

事務局：倉部総務部長：国家公務員の天下りの事例で、我孫子市では稀なケースであろうと思います。現職の市長は、今年1月の任期満了時の退職手当を減らすために、1月の給料月額を減額しています。

坂巻委員：給与水準が低いことは、職員を採用する際には不利に働くことがあります。

飯田委員：現在、日本には年収200万くらいの人が約1,000万人もいるが、これでは経済が成り立ちません。職員にもある程度の給与を支給しないと士気が低下する。

中尾委員：地域手当は例えば、国家公務員が東京に家族を残して地方に赴任する場合に支給される手当ということでしょうか。もしそうだとしたら国家公務員の制度をそのまま適用するのはどうかと思います。いずれにしても職員の意欲が持てる給与は支給するべきだと思います。

事務局：日暮総務部次長：地域手当と地方自治体の特別職給与に関連性はありません。我孫子市では、地域手当の性質が特別職に当てはまらないと考えているので、支給していません。支給している自治体については、一般職に準じて支給しているのだと思われます。

国家公務員において、平成18年度の給与制度改革を実施する際に、北海道・東北地域に勤務する国家公務員と、その地域の民間企業の従業員の給料水準を比較した結果、国家公務員の方が4.8%高かったため、国家公務員の給料表を4.8%引き下げ、北海

道・東北地域での給料水準を官民で均一にし、これを全国の国家公務員に適用しましたが、一方、東京都で比較すると、民間企業の方が18%高いため、東京都で勤務する国家公務員の地域手当を18%とし、同様に各地域によって地域手当の支給割合を指定しています。我孫子市は12%で指定され、取手市は15%、柏市は6%となっていますが、我孫子市は千葉県人事委員会が指定する8%で支給しています。地域手当は水準を引き下げた給料表を補完するものとして考えられていますので、特別職には適用していません。

石崎委員：この審議会は特別職に関するものですが、一般職給与の審議会はありますか。

事務局：日暮総務部次長：一般職給与は議会での審議となります。

事務局：倉部総務部長：一般職給与は人事院勧告に基づいており、原則として人事院勧告は完全実施しています。今年度は勧告が先送りされましたが、経済情勢やラスパイレス指数を考慮した基本給の2%削減は、来年度も継続していきたいと考えています。

石崎委員：一般職給与に対する意見を反映させることはできますか。

事務局：日暮総務部次長：意見を伺うことはできますが、審議会の答申とは別の取り扱いになります。

飯田委員：職員は何名ですか。

事務局：日暮総務部次長：今年度4月1日現在の常勤職員は、水道局職員も含めて874名です。職員数はピーク時に1,081名でしたが、現在までに約200名ほど削減しています。

米澤会長：いろいろとご審議いただきましたが、これより採決を行いたいと思います。市長より諮問のあった、諮問案について、賛成の方は、挙手をお願いします。

— 出席者全員挙手 —

米澤会長：採決の結果、過半数を超えていますので、原案どおり承認することで決定し、市長へ答申したいと思います。

それでは、以上を持ちまして本日の特別職報酬等審議会を閉会いたします。

長時間に渡るご審議ありがとうございました。

午前11時25分終了

審議会終了後、会長より、次回審議会の折には事前に勉強会等を行いたい旨、発言がありました。